

卒業にあたり

やたま建設(株) 三原 昇



平成9年の青年部会設立時から参加させていただき15年間に亘りお世話になりました。

思い出してみますと、その当時は業界全体に活気があり建設業に対して夢と希望に満ちていた時期の設立であったと記憶しています。しかしながらその後、小泉政権による構造改革による公共事業費の大幅削減・民主党政権の迷走・景気の不安定・入札制度の変化などの外部環境に振り回され自社の経営努力だけでは追いつけなかった15年であったと感じています。

その中であって青年部会は高い経営能力を持った若手経営者の集団であり地域建設業を牽引してきたと思います。私自身も多くの事を学ばせていただき感謝しています。

私は本年の総会で卒業ですが青年部会を通して培った人脈・知識を活かし今後の仕事に役立て少しは業界のために恩返ししていければと思います。

最後になりますが青年部会・事務局の皆様、15年間本当にありがとうございました。青年部会の益々の発展を心からお祈りしています。



「青年部会を振り返って」

(有) 原 組 原 享 男



平成9年青年部会設立当初より入会し、はや15年、長かったのか短かったのか？ 無事に卒業を迎えることになりました。

やはり設立当時とは建設業界自体いろいろな意味で随分変わってきたと思います。(長かったんだ!!) 振り返ってみると、私にとってはかなりの活躍の場を頂けたと思っています。(良い意味でも悪い意味でも…)

なんといっても思い出に残る事業活動は初年度の「国道まるごとクリーンアップ作戦」ですね。やりたくなかった出陣式でのがんばろうコール!! その後も何回やらせていただいたことか…ありがとうございました。最初は本当に緊張しました。そして実際に作業してみるとゴミの多さ、歩く距離の長さ、寒さ、忘れられません。年々ゴミも減り国道・県道とも利用者のモラルが良くなり綺麗になってきたなあと思いきや、今度は「海岸清掃」それも真夏に…。まあ青年部会の活動がある限り来年度以降もやってもらいたいものです。

他にも数多くの事業・活動・研修視察旅行、その後の親睦会とたくさんの思い出がありました。この青年部会を通じて多くの皆様と知り合うことができそれが私にとって一番の財産になったと思います。先に卒業されたOB、とりわけOB部長様方には、個人的ご指導・相談といろいろと可愛がっていただき、言葉に言い表せないほどの感謝をいたしております。本当にありがとうございました。

一人ひとりに感謝の言葉を書きたかったのですが!!

最後になりましたが青年部会に入り総務委員長・監事とやらせていただき大変勉強になりました。青年部会の皆様、これからも青年部だから出来る事が沢山あると思います。

それでは出雲地区建設業協会青年部会、明日に向かって「がんばろう！がんばろう！がんばろう！」

ありがとうございました。(拍手)



卒業にあたり

山本工業(株) 花田 昌彦



平成18年に入会し、早いものでもう卒業を迎えることとなりました。経験のない私がこの日を迎えることができましたのは、諸先輩方のご指導、皆様のご協力のおかげと深く感謝申し上げます。

平成18年、19年は会員交流委員会に属し、20年、21年には経営研究委員会の委員長を務めさせていただきました。また22年、23年の2年間は監事を務めさせていただきました。中でも、経営研究委員会では20年には協会のあり方に関するアンケートを実施、21年はPFI事業に関する研修会を実施いたしました。両方を実施したことで、青年部会の会員の皆様、親会の皆様の慎重な意見や建設的な意見などをより明確に知ることができ、今後の協会のあり方、また青年部会の方向性を共に考える機会となったことと思います。

年間の事業では、海岸清掃や国道431号清掃の「ふるさとまるごとクリーンアップ作戦」や、出雲県土整備事務所との親善野球交流試合、研修視察旅行に参加させていただきましたことが今は良き思い出です。

近年建設業界は厳しい状況が続いておりますが、今後も決して楽観できるものではないと思います。しかし、たくさんのお話を学ばせていただいた会員の一人として、そして企業の一員として、建設業界の進むべき道を青年部会の会員の皆様とともに切り拓いていきたいと思えます。青年部会の会員の皆様、“熱き想い”で島根県全体の建設業界を盛り上げていきましょう。

最後になりましたが、青年部会のますますの発展と皆様のご活躍をお祈り申し上げます。本当にありがとうございました。



卒業にあたり

出雲土建(株) 小村 伸一



前任者からの引継ぎで平成21年12月より入会させていただき、2年間という短い期間でしたが青年部会の皆様と一緒に活動できたことは貴重な体験であり、時間でした。

特にこれまで交流の無かった方々と話をしたり、一緒に活動できた事がなによりでした。今思えば、参加することが出来なかった講演会や研修視察旅行に出席していたらもっと交流できたのに…と思うと残念です。

入会当初は前任者の属していた間壁委員長率いる広報委員会で会報誌『青雲』発行の作成に微力ながら参加させていただきました。

平成22年4月からは西尾委員長率いる会員交流委員会に席を置かせていただき、湊原海岸清掃、出雲県土整備事務所との親善野球交流試合等終了後の懇親会、そして忘年会と…会員同士がそれぞれ楽しく交流し過ごしてもらえようと委員会メンバーと意見を出し合い企画・準備し、結果それなりに楽しい宴だったのでは…と思っています。

参加した行事の中ではやはり海岸清掃が大変でした。海岸に打ち上げられている流木や人が残っていたゴミがこんなにあるのか…！ 慣れない作業で身体は痛い、しかも暑い！と内心思いながらも、皆と一緒に頑張っているという一体感があり良かったです。

海岸清掃一つとっても個々の力には限界がありますが、それぞれの会社から若い力が集結し団結する事によりその力は無限大になる！と思っています。

今後も青年部会の皆の想い・願いをどんどん発信・行動して出雲市を盛り上げて行って欲しいです。残念ながら今年度で青年部会は卒業となりますが、会での経験を今後も生かして頑張っていきたいと思います。最後に在籍中にお世話になりました会員・事務局の皆様、本当にありがとうございました。



「卒業生からの贈る言葉」

「できるか」と聞かれたらいつでも、「もちろん」と返事することだ。
それから懸命にやり方をみつければよい

セオドア・ルーズベルト

多くの仕事をしようとする人は、
今すぐ一つの仕事をしなければならない

マイヤー・アムシエル・ロスチャイルド

物事を考える人間は大勢いるが、
行動を起こすのはたった一人だ

シャルル・ド・ゴール

失敗とは、よりよい方法で再挑戦するいい機会である

ヘンリー・フォード

偶然は準備のない者には微笑まない

ルイ・パスツール

金を失う事は些細なことで、
名誉を失うことは甚大だ。
だが、勇気を失う事は全てを失うことだ

ウィンストン・チャーチル

たまには踏みならされた道を避けて、森に入り込むのがいい。
今までに見たこともないものを発見できるに違いないからだ

グラハム・ベル

少なくとも一度は人に笑われるようなアイデアでなければ、
独創的な発想とは言えない

ビル・ゲイツ

年寄りになったからって、賢くなるもんじゃありませんよ。

用心深くなるだけですな

アーネスト・ヘミングウェイ

新入会員紹介

青年部会に入会して



岩崎建設(有) 岩崎利行

今年度より一般社団法人島根県出雲地区建設業協会青年部会に入会させていただきました、岩崎建設有限会社の岩崎利行です。

大学卒業後、数年東京のシステム会社に勤務し、平成18年に出雲に戻り弊社に入社しました。入社当初より総務部に所属しており、社内で仕事をする事が多く、他業者の方々とお会いする機会があまりない状況でした。青年部会に入会して9ヶ月経ちますが、多くの方々に活動・研修を通してお会いすることができ、また、多くのことを学ばせていただき、とても感謝致しております。

至らぬ点が多々あり、青年部会の諸先輩方には何かとご迷惑をおかけすると思っております、どうぞ指導の程よろしくお願い致します。



内藤建設工業(株) 内藤祐馬

平成15年11月に自社へ入社、今年で9年目を迎えることができました。

私が入社する以前より経済の状況は悪化しており、建設業界を取り巻く状況も非常に厳しく、未だこの状況を打開する手立ては見つかっておりません。しかし、建設業は、人々にとって欠かすことのできない物であり、このような時代だからこそ発展途上の可能性を含んでいるのだと思います。

だからこそ、青年部会への入会により、自身の成長を模索しながら視点を広げ、今後の活動に役立てていきたいと思っております。

至らぬ点等もあるかとは思いますが、何卒、宜しくお願いいたします。



(有)丸嘉土建 山根英二

昨年、青年部会に入会し早1年が経とうとしています。この間青年部会の諸先輩方とたくさんの出会いがありました。自身の発露となり又、今後の糧とします。

青年部会独自のいろいろな事業に参加しました。中でも海岸清掃が一番心に残りました。近年、ボランティア時代といわれ地域貢献と共にこの業界ばかりでなく小学生から老人まで多くの方が参加されます。

公共事業をする我々は特に地域の見本となれるよう貢献していきたいと思っております。

土木技術、業務も勿論ですが地域社会の向上を目指し少しでも寄与できる自分でありたいと思っております。時代変われども「温故知新」の精神で今年も頑張りますのでよろしくお願い致します。